



元氣とタイムリーな情報を提供する

五十嵐レポート

発行:「町コン」五十嵐 勉

2023年09月19日 第1134号「週刊五十嵐レポート」

リバースメンタリング

9月15日付日経新聞、「資生堂、若手が幹部を指南」という記事。

資生堂は、若い世代が年配者の先生役となる「リバースメンタリング」で組織を活性化している。若手社員が幹部に先端のデジタル技術や消費トレンドを教え、新規事業も議論する。組織の垣根を超え、異世代での立場を逆転させた交流に延1千人が参加。

(リバースメンタリングとは、若手社員と先輩社員が立場を逆転し【＝リバース】、若手社員がメンターとして、メンティーである先輩社員に助言を行う教育支援制度のこと)

(リバースメンタリングは1990年代後半にゼネラル・エレクトリック社が経営幹部が現場のエンジニアから進化の早いITの知識を教わる仕組みを採用した) 幹部のコメント、「本業に生かせるヒントになるし、普段接触の少ない20代社員との対話から得る刺激は快い」。20代のメンターは、「異なる部署の先輩と知り合える機会は貴重。対話を通じて将来おキャリアの参考になる」。

指南を受ける(メンティー)社長や役員はピラミッド型組織で起こりうる経営層と若手との距離を縮めることが狙いの一つ。また、教えるを受ける中堅・ベテラン社員が謙虚に耳を傾け、若手の知見や発想を引き出すスキルも問われている。

私が運営している社長塾の話。3年～6年ほど経営を勉強している社長たち。そこに2年強勉強している新米社長がいる。最初は、「経営って何?」「戦略って何?」だった。新米社長はゼロからスタートし、ノートを取り始めた。みんなとの距離が果てしなく遠く感じていた。しかし、素直に実直に考え、実践していった。実践はみるみるうちに業績に表れてきた。他の先輩社長たちは、勉強にも慣れ、上手く良い所を取り入るが、自分にとって耳障りの悪い、苦手な分野は避けてきた。それでも経営はやっていける。今では2年強経った新米社長が先輩社長たちの経営実力を追い抜き、社長塾の首席に立った。

先輩の「慣れ」。新米の「素直」。若手から学ぶことは多い。

ちょっと
気になる出来事

ジャニーズ事務所が揺れている。亡くなった元オーナー経営者の私的な不祥事が問題となり、大手企業のCM、番組出演が取りやめとなり、所属タレントが活動範囲を狭まれている。いわゆる不買運動である。

ビッグモーター社は本業の不祥事で水面下で不買運動が起こり、経営危機に陥っている。

福島処理水で、中国は国として日本水産物の不買運動をしている。韓国も民間レベルで不買の状態である。政府は補助金を用意しており、当事者企業は違う販路を開拓することができる。

ビッグモーターはスポンサー企業が出現し、M&Aで全く違う経営を行えば、再建の可能性は大いにある。

一方、ジャニーズ事務所はどうか。世間、スポンサーの大手企業、テレビ局等はオーナー一族の株式会社であると、解決は見いだせないのでは。スポンサー企業を募り、オーナー族を排除し、再スタートが望ましい。タレントには罪はないのだから。



一口メモ
知識

時義(じぎ)

「時義(じぎ)」とは時の意義。

経験することに大変重要な意味がある時、適(かな)ったことをしなければ何も動かない時、非常に注意して扱うべき時に用いる言葉である。

「義」は正義の義。無駄を省き、実となるものだけを取り出す。

収穫の際の伐採の意味がある。

悩み苦しみ、迷う時は、必ず学ぶべき意義がある。

その時の環境や状況に負けずに学び、決断し、行動する意義を考えるならば、道は切り開ける。

「易经一日一言」(致知出版/竹村亜希子)より

●「戦略社長塾東京」小岩校 毎週日曜日・水曜日 午前10時～12時

●「戦略社長塾東京」銀座校、武蔵村山校、豊岡校 開講中。

㈱五十嵐コンサルティングオフィス 〒133-0051東京都江戸川区北小岩6-21-5

TEL03-3659-7703 Fax03-3659-7077 info@igarashireport.com

